

令和5年度 県における木材利用実績

- 令和5年度に県が実施した建築工事、土木工事及び備品・消耗品購入等による木材利用量は977m³（前年度比93m³の減少）で、うち県産木材は607m³（前年度比70m³の減少）、割合としては62%であった。
- 建築工事で266m³、土木工事で280m³、備品・消耗品購入等で432m³が利用された。
- 建築工事での木材利用量は前年度から146m³増加（前年度比65%）し、ほとんどが県外産であった。
- 土木工事での木材利用量は前年度から73m³増加（前年度比135%）し、利用量のうち62%が県産材であった。
- 備品・消耗品購入等の木材利用量は前年度から19m³増加（前年度比96%）し、利用量の100%が県産材であった。また、多くが畜産飼育用敷料（おがくず）として利用された。

◆利用事例◆

1 建築物



合同庁舎（内装・県産材）



交番（木造・県外産）

2 土木工事



木柵工（県産材）



階段工（県産材）

3 備品・消耗品等



畜産飼育用敷料（県産材）



木育用おもちゃ（県産材）